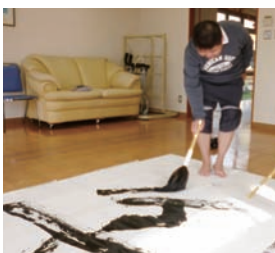


謹賀新年



生活介護利用者 貼り絵作品



『亥』 松岡徹哉さん 書



藤井俊光さん 作



昨年十月からは、益田市から「障がい者基幹相談支援センター事業」の委託を受け、『益田市基幹相談支援センター』を設置し、総合的、専門的な相談支援体制の構築に着手したところであり、ご支援とご協力をよりしくお願いいたします。



それ以来、二十年「はびねす福祉会」は多機能複合型施設「あゆみの里」の経営に携わってきました。「広い心とさわやかな笑顔」をモットーに、常に障がい者の豊かな地域生活を実現するための支援に尽力してきました。これからも、心新たに、障がい者の皆様の期待に応える、地域の中核的障がい者支援施設として前進していかなくてはなりません。

益田市障害者福祉センター「あゆみの里」は、平成十二年四月、開所しました。当時、益田市が構想する福祉施策の新しい重要テーマとして、その設置が検討されておりました。益田市は障がい当事者の意向を大切にしながら、この事業を進めてこられました。障がいの種別を超えて、すべての障がい者のための、障がい者による、障がい者の施設の実現を目指す運営母体として、各種障がい者団体の力を結集して設立されたのが「社会福祉法人はびねす福祉会」であります。



理事長 百合本 健夫

二十年目の年を迎えて



ライトイットアップブルーキャンペーン作品募集

あゆみの里では来年度も引きつづき「世界自閉症啓発デー」に、世界を青い光に包むことで自閉症啓発を促す『ライトイットアップブルーキャンペーン』というイベントを平成31年4月2日(火)から開催します。そこで今年も《青の世界》と題し、自由な発想で作られた青い作品の展示を企画しています。下記の規格にあう作品であれば、どんなものでもO.Kです。

応募していただいた作品は、平成31年4月2日～平成31年4月7日まで、あゆみの里に展示します。詳細はホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。皆さまのご応募お待ちしております。

1.応募資格 浜田市・益田市・鹿足郡に在住の方

2.応募点数 個人作品、グループ作品にかかわらず、一人(団体)一点とします。

3.作品の内容と規格 未発表のオリジナル作品

※キャラクターなどを描いた作品や、既存の作品を模写したものは、著作権法に触れるおそれがあるため、応募することはできません。

(1)素材 自由ですが、自然由来の素材(なまもの・木の実・枯れ枝・枯草・流木・貝殻など)、危険性の高いもの(素材に刃物を使用しているものなど)は、お受けできません。

(2)大きさ ①平面作品 作品の大きさが、幅400cm×縦400cm以内

②立体作品 幅、奥行き、高さの3辺の合計が300cm以内

4.応募方法

応募用紙に記入の上、障害者福祉センターあゆみの里 啓発実行委員会宛に持ち込み頂くか、郵送してください。(郵送料はご負担ください。)

(1)応募期間(受付期間) 平成31年3月1日(金)～3月22日(金)

(2)応募用紙の送付先

〒699-5132 島根県益田市横田町2087番地1

益田市障害者福祉センター あゆみの里 啓発実行委員会

TEL (0856)31-5100 / FAX (0856)31-5102



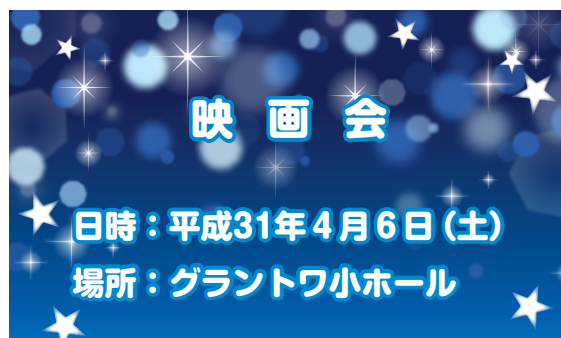
5.その他

(1)取得した個人情報は、キャンペーン時に限り使用します。

(2)作品の保管については、万全の注意をもって取り扱いますが、不可抗力による作品の損傷に対しては、その責任は負いかねます。

(3)応募された作品は、メディアでの紹介や、画像データとして保管し主催者の刊行物・ホームページなどに掲載する場合があります。

(4)応募作品は原則として返却いたしません。



精神障がい者の地域生活を支える会 通称 支える会 とは!?



十一月九日(土)の視察研修では、最初に「フルール益田」を訪問し、丁寧な説明をいただきました。

同日、あゆみの里についても学びました。視察した「かまて」のお弁当は、とても美味しくて大好評でした。



会員随時募集中!

精神障がい者の地域生活を支える会 事務局
〒699-5132 益田市横田町2087番地1
益田市障害者福祉センターあゆみの里内
地域活動支援センター ☎ 0856-31-5100
Fax 0856-31-5102

「振り返れば15年」

平成15年の神田寮開所時、私は神田地区の自治会長でした。当時のあゆみの里施設長と担当職員が、開所に対する理解を求める説明会を、何度も開いてくれました。

そのような経緯であゆみの里との関係ができ、当時の保健所長からの応援も受け、県内2番目の「精神障がい者の地域生活を支える会」が設立され、私は当会の副会長になりました。

平成26年11月、県福祉大会がグラントワにて開催。当会の活動が評価され、県精神保健福祉協会会長賞を受賞しました。当日は、支える会の役員、会員、当事者がステージに上がり、協力して「支える会」の活動内容を紹介しました。

昨年、私が会長になってから、当会のさらなる活性化を目指しました。会員数は少しずつ増え約150人。役員が各事業を担当し実施。年度初めの総会・研修会、BBQ&GG交流会、夏の学習会、秋の視察研修を地道に実施し、成果を上げています。



精神障がい者の地域生活を支える会会長 兼子哲彦

「高次脳機能障がい」って知っていますか?

脳卒中や交通事故、転落事故、脳炎や水におぼれるなどによって、脳が損傷を受けると、記憶をしたり、段取りをしたり、物事を集中して進めることなどが難しくなります。

○記憶障がい

新しいことが覚えられなくなったり、昔のことが思い出せなくなったりする。



お昼ご飯、何たべたっけ?

○遂行機能障がい

適切な目標をもち、それを達成するための計画をたて、効率よく実行し、その結果を評価して次の行動に活かすことが困難になる。



8:30に会社に行くのに、何時の電車に乗れば間に合うのかな?

益田圏域相談支援拠点
相談支援事業所 ほっと
TEL: 0856-31-5433
FAX: 0856-31-5102

○社会的行動障がい

行動をおさえたり、調節したりすることができない。

他の人が、お世話してもらっているのが気に入らない!



○注意障がい

物事に集中できない。

ゲームしてるのが気になって、集中できないや。



身体の後遺症は残っていないけど、上記のような症状があって日常生活に支障があって困っていませんか? 「ひょっとして?」と思ったら、1人で悩まず、ご家族で抱え込まず相談して下さい。

吉賀町 難聴者への啓発研修会を開催しました！



平成30年9月～12月まで、柿木ふれあい会館にて、「聞こえない・聞こえにくい人のことを知ろう。」をテーマに、吉賀町民対象の研修会を4回開催しました。

研修会では、図を使って耳の仕組みや難聴について学びました。難聴者との交流を通して、どんなことに困っているのか、自分に何ができるのか考えました。また、わかりやすい筆談についてのポイントを知り、書いて伝える実習もしました。

～参加された方の感想です～

- ①わかりやすく簡単な言葉を考えるのが、難しかった。
- ②筆談は会話と同じように感じた。
- ③たくさんの人に知ってほしい内容だった。



聞こえが不自由なことを表すマークです。筆談などの配慮が必要です。

レインボーハウス・たんぽぽ 出店報告

11月18日(日) 市民学習センター 多目的ホールにて「健康ますだ市21 フェスティバル」が開催されました。

松本医院 院長の松本祐二先生の講演会や、食生活部会による弁当甲子園、歯科部会、運動部会による「益ます元気体操」を会場の全員で体操しました。レインボーハウス、たんぽぽからは、シフォンケーキ、カップケーキ、クッキー、不織布等を販売し、大好評で完売しました。職員と、利用者さんも益ます体操をして、改めて健康の大切さを感じた一日となりました。



ご寄贈・ご協力 ありがとうございました。

- 地域の皆様（衣類の提供）
- 協力会員の皆様
- 支える会の皆様
- 大正琴ボランティアの皆様
- 手芸ボランティアの皆様
- こもれびボランティアの皆様
- 土田恵美子様（たんぽぽ プランター植え替え）
- 弘田様（「わたしたちの手話」10冊）
- 地活利用者様より（色鉛筆、絵の具）

「あゆみの里発 はっぴー号」は、点字版・朗読CD拡大版をご用意しています。必要な方はあゆみの里までご連絡ください。

あゆみの里 開館時間
(月)～(金) 8:30～17:30
(土) 8:30～16:00